

子どものやけど、 気をつけて！

0～1歳のやけどが最も多い

やけどで救急車で運ばれた人のうち、最も多いのが1歳児、次いで0歳児です。やけどというとストーブやアイロンを思い浮かべるかもしれませんが、いちばん多い原因は、みそ汁やスープなどの熱い食べ物。やけどはちょっとしたすきに起こるので、注意しましょう。



電気ポットのコードを引っぱって落下させ、お湯がかかった



対策 加熱する電化製品は、手の届かない場所に置き、コードに引っかからないよう注意しましょう。

食卓に置いた、熱いみそ汁の入ったお碗をひっくり返した



対策 熱いものは子どもの手の届かない場所に置き、子どもの食事は冷ましてから食卓へ。また、だっこしたまま調理したり、熱いお茶などを飲んだりするのもやめましょう。

すぐ冷やして！



子どもがやけどをしたときは、すぐに流水で冷やします。衣類を着ているときは、服の上から水をかけましょう。水ぶくれができたときや、やけどの範囲が広いときは病院へ。

歯の磨き方教室をしました

年長さん対象に歯の磨き方教室を行いました。町方歯科の歯科衛生士の山越さんの話をよく覚えてくれていて、磨き方を復習することができました。その後も年長さんは給食の後、上手に磨いています。

こま草保育園では年に歯科検診2回あります。虫歯がなくても予防歯科の観点からも、子どもが慣れたかかりつけの歯科医院をもっておくと、スムーズに虫歯の治療に入ることができます。年に1回以上は保護者の方もお子さんと一緒に歯科検診をお勧めします。



12月の感染症情報

溶連菌 9月から毎月数名ずつ感染の報告があります。

手足口病は落ちつきました。

市内ではインフルエンザが流行中しています。インフルエンザは登園禁止期間が学校保健安全法施行規則で定められています。診断確定の時に医師に確認してください。

診断された場合は、受診後早めにお知らせしていただく様をお願いします。

